

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

- 基礎・基本的な知識・技能の習得を目指した取組の充実
 - ・習得すべき漢字の読み書きができる。(「漢字のまとめ」テストで81%以上の正答率)
 - ・基礎・基本的な計算ができる。(「算数のまとめ」テストで79%以上の正答率)
- 思考力・判断力・表現力を育む取組の充実
 - ・「よい授業アンケート」の「自分一人で考える時間がある」の質問に対して、前年度比較で0.2pt向上を目指す。
- 主体的に学習に取り組む態度の醸成
 - ・学校評価アンケート「自分から進んで学習できている」の質問に対して、前年度比較で2pt向上を目指す。
 - ・保護者アンケート「家庭学習に進んで取り組んでいるか」の質問に対して、前年度比較で3pt向上を目指す。

具体的な手立て

- ①朝自習の「国語・算数タイム」を活用して、通年で漢字・計算の基礎問題に取り組む。
- ②4・5年生の算数では、少人数指導による学習を進め、学習内容の定着を図る。また6年生では教科担任制を進め、専門的な指導により、全体的な学力向上も目指す。
- ③家庭と連携し、タブレットパソコンも活用しながら家庭学習の更なる充実及び基礎・基本的な知識・技能の定着を図る。
- ④授業では「個で考える時間」を十分に確保し、「伝え合う時間」を充実させることで、思考力・判断力・表現力を高める。(ミライシード「オクリンク」「ムーブノート」の効果的な活用)
- ⑤タブレットパソコンを活用し、「ドリルパーク」に取り組み、学習内容の確実な定着を目指し、進んで学習に取り組む姿勢を醸成する。
- ⑤授業のユニバーサルデザイン化を進め、個に応じた学習を展開する。

結果

今年度の振り返り・次年度に向けて